



JASDAQ

2020年2月13日

各位

会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所
代表者名 代表取締役社長 山田 晃久
(JASDAQ・コード4351)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 田中 光行
電話 045-325-3933

営業外収益の計上及び通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2019年12月期において、下記のとおり営業外収益の計上及び、2019年2月8日に公表した2019年12月期通期の連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,815	210	225	145	34 14
今回実績値(B)	2,154	△250	335	575	135 16
増減額(B-A)	△661	△460	110	430	—
増減率	△23.5	△219.0	48.9	296.6	—
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	2,038	△194	△161	△171	△40 33

2. 差異の理由と営業外収益の内容

派遣事業は堅調に推移し、不動産ソリューション事業においても底地等の売却が順調に進みましたが、サービサー事業において購入済債権からの回収がずれこんだほか、新規および既存の債権からの回収も低調であったため、売上高と営業利益において予想数値を下回りました。一方、当連結会計年度において当社が出資した、投資事業有限責任組合スキームによる中堅・中小企業向け事業承継ファンドより、持分法による投資利益が発生し、この会計処理について相応の時間をかけた慎重な検討を経て、営業外収益に497百万円を計上いたしました。これにより、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益において予想数値を上回りました。本出資は当社のこれまでの事業再生、事業承継案件への取り組みが実を結んだものであります。

以上